

能勢町総合計画審議会
会長 神吉 紀世子 様

審議会委員 八木 修

第6次能勢町総合計画（案）に対しての意見書

1. 書き出しの7つのテーマの前文について

- ・「答えをすべて求めず・・・」を最後に掲載すると言いつに
- ・最初から「答えを求めず・・・」を、大胆に取り組む姿勢をうちだしては

＊例えば

地球温暖化に貢献できる、能勢町はオーリンワンの里山保全の取り組みを目指す

2. 7つのテーマはかなり重複していないか

- ・各項目の内容や「ひとこと」が、町内の住民と町外の方々への思いとが両論併記になっているように思える

3. 7つのテーマを生かすなら、大胆に概要版は住民向けと、町外の方々への呼びかけと別々に作成してみてはどうか

- ・今後議論される各分野の計画には触れられているが、住民と町外の方々への概要版が作成可能なら、つかみの部分なので大胆な表現で作成してみてはどうか
- ・住民には概要版が配布されると思うので、その点を意識した編集を

4. 町民むけには里山未来都市は住民に抵抗があるのでは

- ・例えば・・・都市と表示しながらも別の斬新な呼び方に
第2次総合計画は全町公園化構想をサブタイトルにしたが住民には理解されなかったように思える
- ・町外版はネガティブだけど意欲のあるタイトル
例えば鳥取県は・・・スタバはないけど砂場ある
- ・もし概要版を町内外に分けて作成できるのなら、スペースに余裕ができるので皆さんと協議できる

現状の「t o p i c」に対して

Topic 01

- ・小中高一貫教育は、町民に理解されていないし、その成果と検証が必要
- ・町外に対しては町づくりの根幹にしていると訴えるには書き方に工夫を

Topic 02

- ・全体として町外の方には響くが、町民には里山を守ることの意義が共有されているか
- ・多様な担い手が主語なのか、里山の活用が主語なのか

Topic 03

- ・どちらかというと町外の方々への発信がほとんど
- ・町民に能勢町の良さを認識してもらい・・・可能性を訴える
- ・下から6行・・・地方暮らしに違和感が

Topic 04

健康で長生きの先・・・生きがいつくり等を抽象的でも描けないか

Topic 05

- ・町民向けと町外の方々への訴え方が違うのではないか
- ・再生エネルギーを自給を目指すまちを・・・環境省の里地と都市の再エネ地域連携による持続可能な北摂モデルの構築を柱に・・・資料提供してみても

Topic 06

- ・抽象過ぎてトピックになるのか

Topic 07

- ・大胆な取り組みに挑戦・・・町長は交通弱者のドアツードアを公約にあらたなコミュニティーを構築し問題解決へ
- ・運転手不足は記載が必要か

横文字に対して説明・・・特に町民向けは

子供の表記・・・子供・子ども・こども・・・国は「こども家庭庁」を創設

第2章

人口の推移

1. 現状

- ・ 2020年の国勢調査の確定値が出たので表記すべき
- ・ 国勢調査と住民基本台帳の違い・・・住民は毎月広報に住基のデータが
* 国調は2020年10月1日、住基は2020年3月31日の数値
- ・ 人口では国勢調査は9079人、住民基本台帳では9532人で453人少ない
- ・ 65歳以上の人数は、国調は3805人、住基は3982人で177人多い・・・この違いは施設や病院の入所者数と思われる
- ・ 上記から国調と住基の違いは、住民登録はしているが居住していない若年層が多いと推測できる・・・現状を示すデータを分析し記載も必要
- ・ 示されたデータの検証や評価についてはなにも話し合われていない
- ・ 可能なら2020（R3）年まで表記を
- ・ 国調の確定値では高齢者夫婦のみの世帯数や単身高齢者数も
* 実情は深刻で・・・前回は記載
- ・ 合計特殊出生率の掲載は若い世代にプレッシャーにならないか

2. 予測

- ・ 2014年に日本創生会議がまとめた消滅自治体でワースト24位だが、その検証が必要では

3 住民の意向調査

- ・ 住民アンケートと取り扱いについて・・・半数以下の回答（45%）
送付数の年齢構成と、回答数の年齢構成など検証が必要
- ・ 都合のいい項目だけでいいのか
可能なら住民の意見を聞いた程度でいいのでは